

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人社団西奈会(仮称)介護老人保健施設 葵の園・小田原増築工事	階数	3
建設地	小田原市曾比字前河原1350、1351、1352他	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	200人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年8月 予定	評価の実施日	2014年6月1日
敷地面積	3,855 m <sup>2</sup>	作成者	坪井工業株式会社
建築面積	1,341 m <sup>2</sup>	確認日	2014年6月10日
延床面積	3,732 m <sup>2</sup>	確認者	坪井工業株式会社



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: 100, A: 3.0, B+: 1.5, B-: 1.0, C: 0.5

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算: 建設(青), 修繕・更新・解体(赤), 運用(黄), オンサイト(緑), オフサイト(紫)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 居住者が快適に暮らすことができるよう、バリアフリーに配慮した計画となっている。さらに、中庭を設けるなどして居住者同士の交流を深める場を創造している。		0
<b>Q1 室内環境</b> 外皮の性能を良くし、快適な室内環境を創造している。共用部、住居部ともに昼光への配慮をし開口部の大きさや制御に取り組んでいる。 F の建材を採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 既存部分の内装計画に合わせて、居住者にとって心地よい空間を創造するよう計画されている。外壁仕上げ材や配管設備においては、耐用年数の高いものを採用し更新の頻度を少なくするよう配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 居住者にとって憩いとなる植物を敷地内で生育させている。中庭を設け、居住者が交流できるスペースを創造している。
<b>LR1 エネルギー</b> 設備の省エネ化を積極的に図っている (ERR=35.6%)	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水器具を積極的に採用している。躯体+軽鉄+仕上げという構造であるため、解体時のリサイクルを促進する取り組みを行っている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 室内から漏れる光を極力少なくし、外部環境への配慮をしている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される